

2021 年度事業計画

1 防犯事業

平成 29 年度には栄 5 丁目に 37 か所 42 台の防犯カメラを設置した。栄東地区のうち栄 4 丁目には県警が交差点に 21 台設置している。2021 年度に、さらに栄東地区の地域防犯力を高めるため、栄 4 丁目の不足している場所に運用、維持管理しやすい防犯カメラを設置する。

＜参考＞ 防犯カメラ画像の閲覧実績

2017 年度(2017.1 月～) : 3 回、5 基

2018 年度 : 19 回、35 基

2019 年度 : 23 回、67 基

2020 年度(～2020.11 月) : 14 回、19 基

2 防災事業

(1) 防災訓練

栄東まちづくりの会、栄東発展会、栄東女子大小路ビル協会とともに主催し、池田公園において防災訓練を行う。

協議会としては、広報、炊き出し材料、啓発物品の購入を行う。

(2) 防災・防犯講習会

栄東まちづくりの会、栄東発展会、栄東女子大小路ビル協会、中消防署、中警察署とともに主催し、講習会を行う。

協議会としては、広報、啓発物品の購入、設営、講師等の依頼を行う。

(3) 防災倉庫の改築

老朽化した池田公園の防災倉庫の改築を行う。

3 環境美化事業

(1) 落書き消し活動

栄東まちづくりの会とともに栄東地区内の落書き消し、いたずらシール剥がし活動を行う。協議会としては、ペンキ、有機溶剤、道具等の資材の購入を行う。

(2) ゴミ、カラス対策

栄東まちづくりの会、栄東発展会、栄東女子大小路ビル協会と協働し、ゴミ散乱の原因となるゴミ出しの適正化の啓発、カラス被害の防止等を行う。

4 街路灯事業

(1) 街路灯の整備

栄 4 丁目、5 丁目の街路灯を整備する。栄 5 丁目南部には未整備地域があり、歩道のない区間も多いため、整備手法を含め検討する。

(2) 街路灯の維持管理

新設の街路灯及び既設街路灯の一元管理を行い、街路灯の保守、電灯料支払いを行う。

＜参考＞ 2021 年度期首

- | | |
|---------|---|
| 1 新設街路灯 | 133 基 (2017-20 基、2018-46 基、2019-40 基、2020-27 基) |
| 2 既存街路灯 | 216 基 |

5 公園整備・活用事業

(1) 池田公園トイレのリノベーション

2020 年度に建替えた池田公園のトイレに旧中日ビルのモザイクタイルの一部を使用し、リノベーションを行うことを検討、実施する。

(2) 池田公園活用策の検討

栄東地区の賑わいを創出し、魅力を発信するための新しいイベント、公園の活用策を検討する。

6 道路空間整備検討事業

栄東地区内の道路を、違法駐車がされにくく、放置自転車のない道路、歩いて楽しい空間とするため、自転車駐車場の整備、放置禁止区域の指定の検討を始め、道路のあり方を検討、実施する。

7 多文化共生事業

外国人と地域との共生、相互理解のために行ってきた相談事業、イベントの評価を行い、事業のあり方を検討し、実施する。

8 地域活性化事業

名古屋の都心部は名駅地区がビジネス地区、商業地区としても発展し、栄、伏見地区でも商業、住宅開発が進んでいる。また久屋大通公園の再整備が進められている。一方、栄東地区は都心部栄の立地を活かしきれていない面があり、賑わいづくりが必要となっている。

こうした状況から、栄東地区の活性化、賑わい創出と魅力発信のため、様々な事業を実施する。

(1) 夏祭り、イルミネーションイベント等の地域イベントの実施

池田公園での夏祭り、イルミネーションイベント、3 by 3 バスケットボール大会を実施する。

なお、地域の負担を軽減するため、設営の外注化の拡大を検討する。

(2) イルミネーション装飾

池田公園内の装飾のほか、更新時期に来ている歩道（東栄通：広小路から池田公園まで、瓦通：久屋大通から空港線まで）の装飾の代替を実施場所、デザインを検討し、実施する。

(3) 公衆無線 LAN (Free Wi-Fi) の運用

2017 年度から実施している Wi-Fi サービスを評価し、地域全体で利用率向上に努め、改善されない場合は廃止も含め運用を検討する。

9 調査研究事業

栄東地区のまちづくりの方向性、施策を検討するため、他地域の事例の調査、研

究する。

10 広報事業

栄東地区の魅力、情報を発信するため、広報紙等の広報媒体を作成するほか、ホームページを活用する。

11 その他

事務局倉庫を廃止するほか、協議会会議室が広く活用されるよう地域全体で稼働率の向上に努め、年度途中で評価する。効果的な改善が見られない場合は事務所移転も含めて検討する。